

被害を防止するため、

また、加害する動物を増やさないため、対策を行いましょう。

◎餌を与えない！

収穫の残り、野菜くずや生ゴミは、野外に放置せず、土に埋める・コンポストを利用する等により適切に処分する。

収穫しない果樹（カキ、ビワ、イチジクなど）は伐採する。

◎住みかを与えない！

空き家などに住み着かれないように点検し、侵入口を塞ぐ。

せん定枝は積み置きせずに処分する。

◎防護する！

侵入防止柵（電気柵など）を設置する。

柵設置後は、点検や付近の除草など維持管理を行う。

◎捕獲する！

被害のある畑の中だけでなく、水路沿いなどでも捕獲する。

家族単位で行動することが多いので複数の箱わなを同時に稼働してまとめて捕獲する。

中型獣用の簡易電気柵も開発されています



このパンフレットに関するお問合せ

○栃木県環境森林部自然環境課 TEL 028-623-3207

捕獲の手続き等についての御相談は

捕獲には許可が必要です

お住まいの市町の鳥獣被害対策担当課、もしくは、最寄りの環境森林事務所等へお問い合わせください。

○県西環境森林事務所 TEL 0288-21-1178 ○県東環境森林事務所 TEL 0285-81-9001

○県北環境森林事務所 TEL 0287-23-6363 ○県南環境森林事務所 TEL 0283-23-1441

○矢板森林管理事務所 TEL 0287-43-0427

農業被害対策についての御相談は

お住まいの市町の鳥獣被害対策担当課、もしくは、最寄りの農業振興事務所へお問い合わせください。

○河内農業振興事務所 TEL 028-626-3072 ○上都賀農業振興事務所 TEL 0289-62-6125

○芳賀農業振興事務所 TEL 0285-82-3074 ○下都賀農業振興事務所 TEL 0282-24-1101

○塩谷南那須農業振興事務所 TEL 0287-43-2318 ○那須農業振興事務所 TEL 0287-22-2826

○安足農業振興事務所 TEL 0283-23-1431

発行：栃木県環境森林部自然環境課 令和3(2021)年10月

# アライグマ・ハクビシン等 中型動物判別マニュアル



# 生態

## アライグマ (洗熊、Raccoon) アライグマ科



活動時間

原産地：北米 外来生物法で特定外来生物に指定されている。  
 食性：雑食、何でも食べるため農作物や自然環境に与える影響大。  
 繁殖：年1回、4月中旬に3～6頭出産、成長は早く1年で成熟。  
 その他：容姿や仕草はかわいいが、性質は荒い。アニメの影響で大量に輸入されたが、この性質のため飼いきれなくなり多くの個体が野外に放たれて定着。ねぐらや繁殖は建物の屋根裏等を利用。

アライグマ

# 顔の特徴



黒いアイマスクはタヌキに似ている  
白いヒゲと耳縁の白が識別点

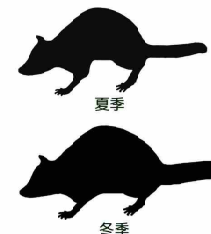
# 形態



頭胴長は40cm～60cm。尾長は20cm～40cm。尾には特徴的な5本から8本の縞がある。  
頭と尾を低く下げて歩行するのが特徴

アライグマ

# 体形



夏季  
冬季  
夏季は全体的に細くなる。とくに尾は細くなる傾向が強い。

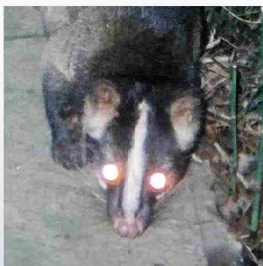
## ハクビシン (白鼻芯、Masked palm civet) ジャコウネコ科



活動時間

原産地：東南アジア 外来生物であるが亜種が江戸時代から生息していた記録があるので特定外来生物には指定されていない。  
 食性：雑食、特に甘い物を好むので果樹や果菜類に与える影響大。  
 繁殖：2～3年に1回、特定の繁殖時期はなく2～4頭出産。  
 その他：戦時中に毛皮用として輸入されたが野生化し定着。ねぐらや繁殖は建物の屋根裏等を利用。

ハクビシン

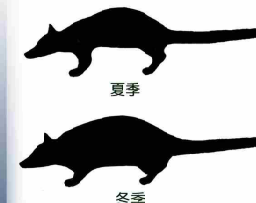


額から鼻先までの白い線が識別点  
アナグマとの違いは黒い顔に白線

ハクビシン



頭胴長は45cm～60cm。尾長が35cm～50cm。体高は低く20cm程で細長い体形をしている。  
他の獣類と比較して尾が長いのが特徴。



夏季  
冬季  
冬季は越冬のため脂肪を貯めるので体重が夏季の1.5倍くらいになる。

## アナグマ (穴熊、Japanese badger) イタチ科



活動時間

原産地：日本 古来より日本に生息する在来動物  
 食性：雑食 繁殖：年1回、春に2～4頭出産  
 その他：地域によってはムジナ、マミ等と呼ばれる。以前は希少動物であったが、現在は増加傾向で里山でも生息確認がある。名前のとおり穴掘りが得意で行動範囲に繁殖や休息のための巣穴を掘る。巣穴は地中深くまで掘られ、長いものは15mにも及び。

アナグマ

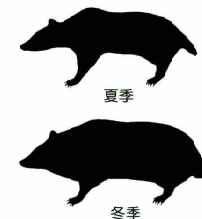


額から目、鼻先までの2本の黒い線  
茶色の顔に2本線が識別点

アナグマ



頭胴長は40cm～55cm。尾長が10cm～20cm。すんぐりとした体形と渋い茶色の体色のため、  
野外で見ると実際より大きく見える。とくに冬季は脂肪を貯めるので非常に大きくなる。



夏季  
冬季  
冬季は脂肪を貯めるので別種と  
思われるくらいの体形になる

## タヌキ (狸、Japanese Raccoon dog) イヌ科



活動時間

原産地：日本 古来より日本に生息する在来動物  
 食性：雑食 繁殖：年1回、春に2～7頭出産  
 その他：里山の動物として親しまれ「悪者」のイメージが少ないが農業の現場では少々厄介な存在。噛み癖があり顔の高さ位までの物は何でも噛み切る。特にひも状の物の切断被害は深刻である。  
 ねぐらや繁殖は建物の床下やアナグマが掘った穴等を利用。

タヌキ

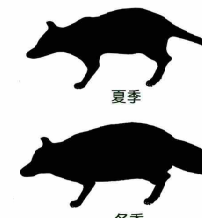


黒いアイマスクはアライグマに似ている  
黒くて自立できないヒゲが識別点

タヌキ



頭胴長は35cm～45cm。尾長が10cm～20cm。肩から前肢に掛かる黒い線と太めの尾が特徴であるが、  
尾は季節によっては著しく細くなるので判別時に注意。



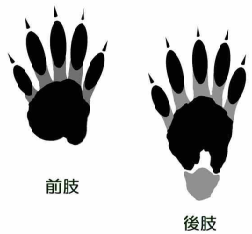
夏季  
冬季  
冬季は冬毛になり一回り大きく見える。  
タヌキは冬季の体形がイメージになっ  
ているので夏季は別種と間違われる。

# あしあと

# 歩き方

# 生活環境の痕跡

アライグマ

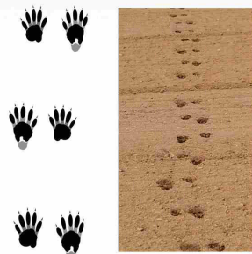


※グレーの部分は付かないこともある



地面 木道

アライグマ



前肢と後肢が並ぶ



柱の爪痕 壁に沿ってできるシミ 破壊された軒 柿を食べた糞

アライグマ

ハクビシン



※グレーの部分は付かないこともある



地面 トタン板

ハクビシン



前肢の痕に後肢が重ならない



パイプを登ったあしあと ポツンとできるシミ 天井裏のため糞 ハクビシン特有の水場のため糞

ハクビシン

アナグマ



※グレーの部分は付かないこともある



アスファルト ベニヤ板

アナグマ



前肢の痕に後肢が少し重なる



竹林の斜面にある巣穴 巣穴の入り口 側溝も住まいにする 細めの糞

アナグマ

タヌキ



地面 防草シート

タヌキ



前肢の痕に後肢が重なるので等間隔になる



建物の床下が休息場 この程度の高さなら乗り越える 剪定枝の置き場も休息場 防草シート上のため糞

タヌキ

生産現場の痕跡



倒して綺麗に食べる



小さな丸い穴を開けて  
くり抜くように食べる



袋を上から破いて  
中身を綺麗に食べる



前枝の爪痕が残る

アライグマ

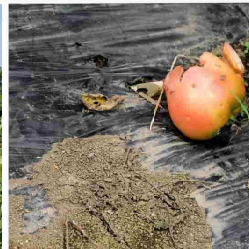
生産現場の痕跡



前枝を突っ込んで  
引っ張りだす



登られた後の枝折れ



落下被害

アライグマ



斜めに倒して綺麗に食べる



大きな穴を開け  
綺麗に食べる



袋を口で引っ張るように  
破くため短冊ができる



棚にぶら下がり  
下から食べる

ハクビシン



基部を残す



皮を残す

ハクビシン



根元を掘って倒す



大きな穴を開け  
くり抜いて食べる



ビニールを破いて侵入

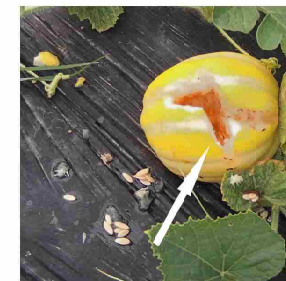


吻による小さな掘り起し

アナグマ

注意！

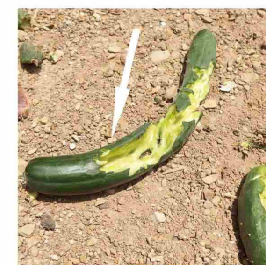
こんな食害はカラスです



動物の仕業に見えるが嘴によるV字がある



先端から始まる被害はカラス



倒して食べるが食べ方が  
汚い



バラバラにして散らかすように食べる



運んで別の場所で食べる

タヌキ